

規範意識を育成する

道徳学習指導案

京都市総合教育センター

< 目 次 >

1. 4-(4)集団生活の向上「合唱コンクールのダイヤモンドランキング」

・学習指導案	1
・学習シート	3
・ランキング項目	5
・ランキング表	7
・道徳教育を進めるにあたって(1)	8

2. 4-(4)集団生活の向上「1本のジュース」※

・学習指導案	9
・学習シート	11
・道徳教育を進めるにあたって(2)	12

3. 2-(1)礼儀「一枚のはがき」

・学習指導案	13
・学習シート	15
・資料	16
・道徳教育を進めるにあたって(3)	18

4. 4-(2)社会連帯「学級委員」※

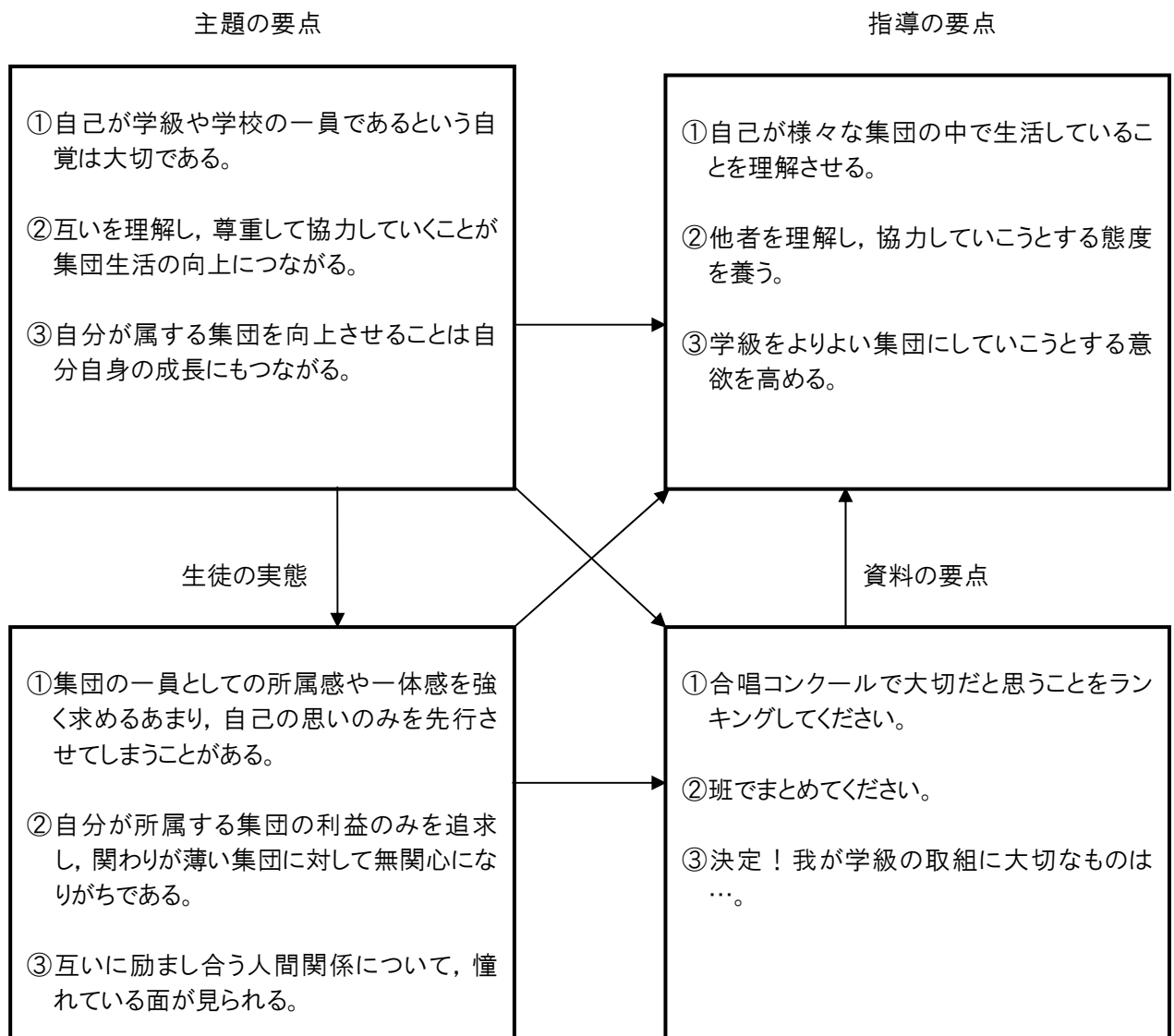
・学習指導案	19
・学習シート	21
・道徳教育を進めるにあたって(4)	22

※「1本のジュース」「学級委員」の資料については、京都市総合教育センターカリキュラム開発支援センターに、出版物があります。

道徳学習指導案

京都市立〇〇中学校

1. 指導日時 平成〇〇年 〇月 〇日(〇) 第〇校時
2. 指導学級 1年 〇組 (在籍生徒 計〇〇人)
3. 主題名 4-(4) 集団生活の向上
4. 資料名 合唱コンクールのダイヤモンドランキング(自作資料)
5. 主題構成の観点



6. ねらい

自分が学級や学校の一員であることに自覚をもち、互いを尊重し協力し合って集団を向上させていこうとする意欲を高める。

7. 指導過程

★…指導の最重要ポイント ◎…指導の重要ポイント

	学 習 活 動	発問と予想される生徒の反応	指 導 上 の 留 意 点
導 入	①学校祭について意見を出し合う。	○本校の学校祭はどのようなものか知っていますか。 ・合唱コンクール ・体育祭 など ○小学校で、どのようなことをやってきたか、先生に教えてください。	①できるだけ和気藹々とした発言しやすい雰囲気をつくる。 ・小学校の話題も聞いてみる。 ・合唱コンクールに話題を向け、昨年のコンクールの思い出を教師が語る。
展 開	②合唱コンクールを取り組むのに大切なことは何かを考える。 ③学習シートの質問1について考える。 ④質問2について考え、意見交流する。 ⑤班に分かれて話し合いをし、ダイヤモンドランキングの表を完成させ、黒板に貼る。 ⑥各班の発表を聞いて、この学級に必要なものを三つ決定する。	○合唱コンクールを成功させるために、このクラスに必要な事は何かを考えてみましょう。 ○【質問1】合唱コンクールで大切だと思うことをランキングしてください。 ○【質問2】「とても大切である」と考えた理由は何でしょうか。 ・「団結力」…みんなの心が一つにならないといけない。 ・「思い出」…一年に一度の行事なので思い出に残したい。 ○「あまり大切ではない」と考えた理由は何でしょうか。 ・「自分の結果」…みんなで合唱をするのだから個人は関係ない。 ○班の中で話し合い、代表者は完成した紙を前に貼りに来てください。 ○どのような話し合いをして、この結果となったのか、各班で発表をしてください。 ・私たちの班では、「○○」が一番大切だとしました。理由は…。	②数人の生徒に、簡単に答えさせることで考えやすくする。 ③学習シートを配る。 ・A～Jの項目の中から選択させる。 ・観察しながら、生徒の記述をチェックしておく。 ・学習シートの裏に付箋を2枚貼っておく。 ④学習シートに理由を記入させる。 ◎2種類の付箋に名前を書き 「とても大切である」→黄色の付箋 「あまり大切ではない」→青色の付箋を黒板に貼り、意思表示をさせる。 ・10項目について、フラッシュカードを用意し、黒板に掲示する。 ◎様々な意見に対して、否定しないように心がける。 ⑤各班で台紙と印刷された色画用紙(10色)を配り、ランキング表を完成させる。 ・班長が議長となり、話し合い活動を進めるようにする。 ◎なぜ、このような結果になったかを発表させ、様々な考え方や価値観があることを理解させる。 ・これまでの発表を聞き、三つの必要なものを決定し、生徒に確認をする。 ・結果を見て、教師の感想と思いや願いを話す。 ★結果も大切であるが、クラスがまとまっていくことが重要である。 ⑦合唱コンクールの取組で、自分が頑張りたいことを書かせるようにする。
終 末	⑦学習シートに感想を書く。		⑦合唱コンクールの取組で、自分が頑張りたいことを書かせるようにする。

8. 評価

- 授業に積極的に参加することができたか。(観察・発言)
- 合唱コンクールの取組に協力していこうとする意欲はもてたか。(学習シート)
- 学級の一員として、学級をよりよい集団にしていこうとする態度が見られたか。(観察)

資 料	合唱コンクールのダイヤモンドランキング
-----	----------------------------

年 組 番 氏名	月 日 曜
----------	-------

【質問1】合唱コンクールで大切だと思うことをランキングしてください。

とても大切である

あまり大切ではない

A・練習量
どのくらいの時間練習したか

B・団結力
みんなの心が一つになったか

C・責任感
自分のすべきことができたか

D・思い出
思い出に残る取組ができたか

E・努力
できるかぎりの活動ができたか

F・一生懸命
せいっぱいがんばったか

G・学級の結果
よい成績を残せたか

H・感動
感動することができたか

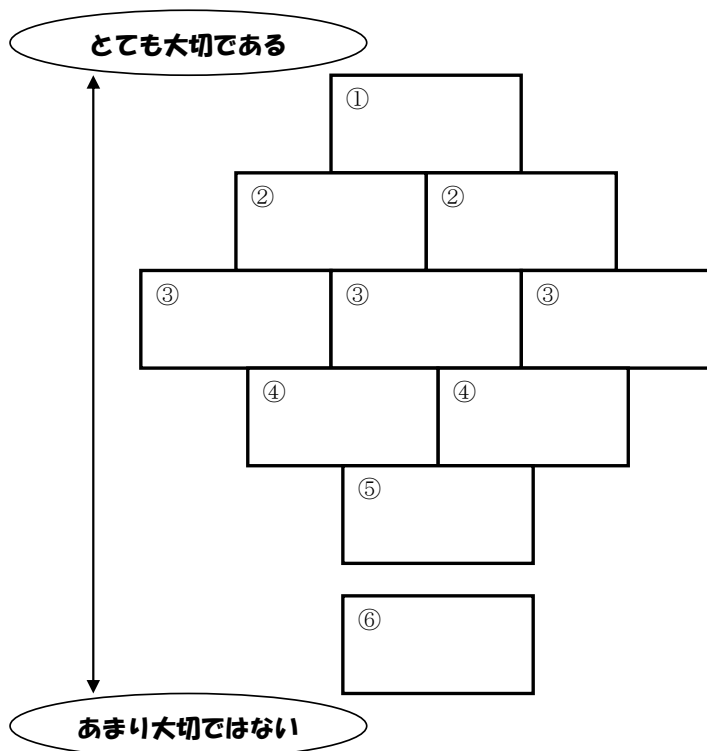
I・個人の結果
自分の技術が上がったか

J・友情
友だちとの友情が深まったか

【質問2】
「とても大切である」と考えた理由は何でしょうか。

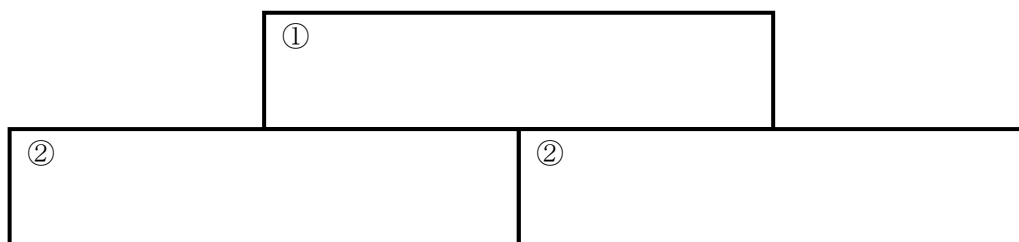
「あまり大切でない」と考えた理由は何でしょうか。

【班でまとめてください。】



- A・練習量**
 どのくらいの時間練習したか
- B・団結力**
 みんなの心が一つになったか
- C・責任感**
 自分のすべきことができたか
- D・思い出**
 思い出に残る取組ができたか
- E・努力**
 できるかぎりの活動ができたか
- F・一生懸命**
 せいっぱいがんばったか
- G・学級の結果**
 よい成績を残せたか
- H・感動**
 感動することができたか
- I・個人の結果**
 自分の技術が上がったか
- J・友情**
 友だちとの友情が深まったか

【決定！我が学級の取組に必要なものは…。】



○今日の感想

A・練習量

B・団結力

C・責任感

D・思い出

E・努力

F・一生懸命

G・学級の
結果

H・感動

I・個人の
結果

J・友情

合唱コンクールで大切なもののランキング

班

①		
②		②
③	③	③
④		④
⑤		
⑥		

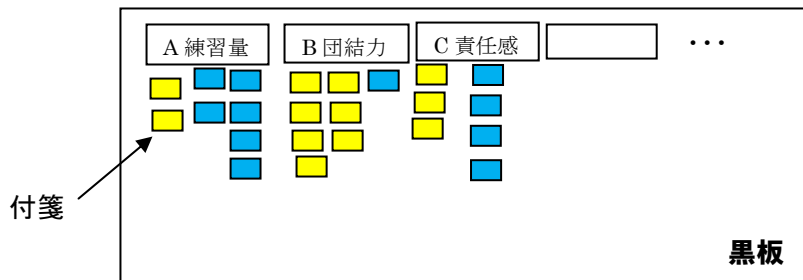
○道徳授業を進めるにあたって(1)【資料名 合唱コンクールのダイヤモンドランキング】

ダイヤモンドランキングをつくる。

合唱コンクールの取組の中で、大切さの要素を考えるために、10項目の順番を考えることをしました。活発な意見交流をするため、付箋とランキング表を使ってダイヤモンドランキングをつくりました。

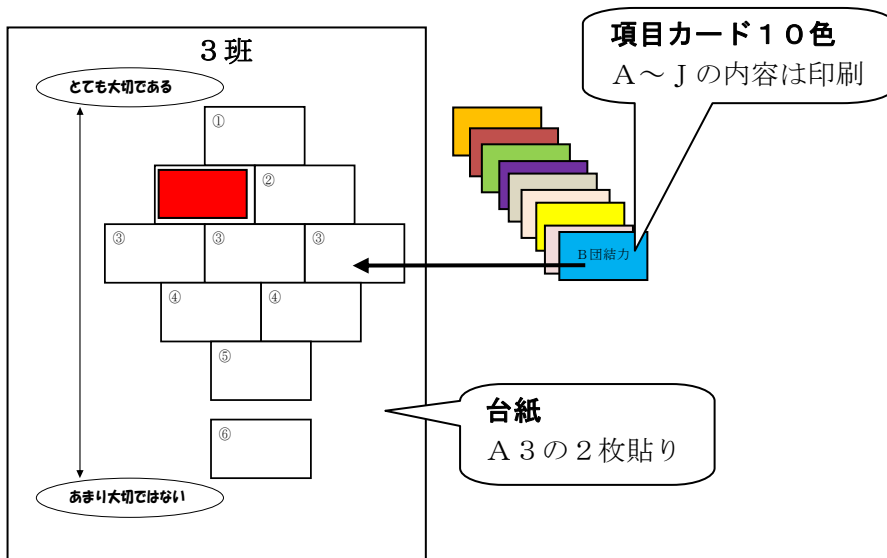
1. 付箋を使って意思表示をする。

- 付箋を用意します。(2色×人数分)
- 指導過程④で、選んだ項目の意思表示をするのに使います。
- 「とても大切である」→**黄色**、「あまり大切でない」→**青色**、のように、2色の色を分けて使います。
- 付箋は、ワークシートなどに貼っておき、生徒に配布すると時間短縮になります。
- 黒板にはフラッシュカードで項目を掲示すると時間短縮になります。



2. ダイヤモンドランキングを班でつくる。

- ランキング項目カード→10種類×◇班分、・ランキング台紙→◇班分
- 色画用紙に印刷し、文字が見えなくても、項目が色で判別できるようにします。
- A4の元原稿を200%に拡大し、A3の2枚貼りでカードとサイズが合います。



*このほかに、学級の実態に応じて工夫を加えてみましょう。

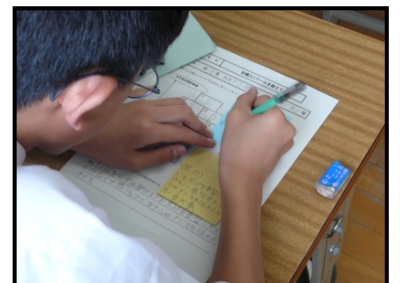
(例) 付箋を書かせるときに「名前だけ」と「理由を書く」の方法があるので、学級の実態に応じて使い分けます。

(黄)
山田 太郎

名前だけの例

(黄)
部活と同じで、練習時間をかけなければよいものではない。山田太郎

理由を書いた例

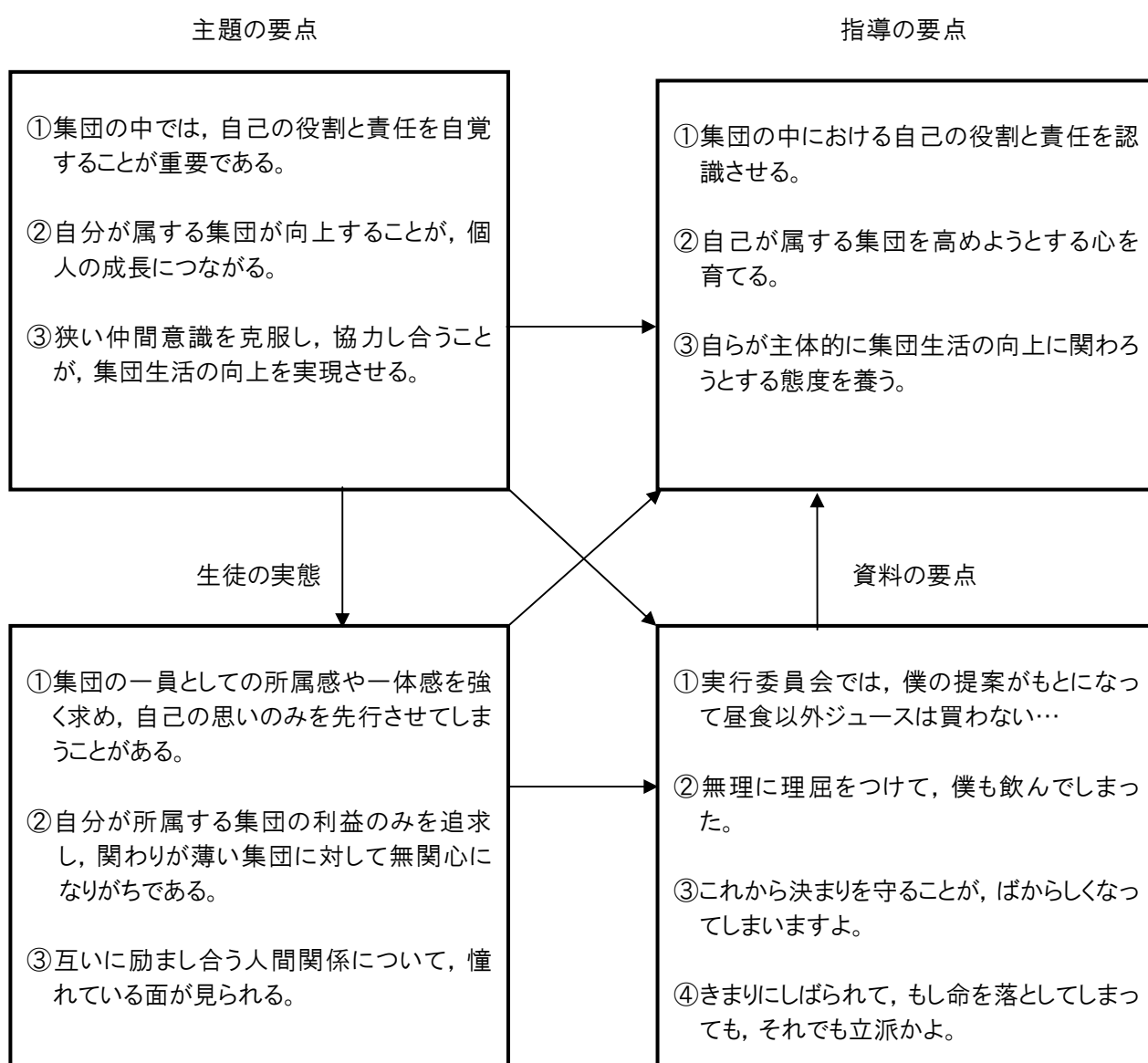


道徳学習指導案

京都市立〇〇中学校

1. 指導日時 平成〇〇年 〇月 〇日(〇) 第〇校時
2. 指導学級 〇年 〇組 (在籍生徒 計〇〇人)
3. 主題名 4 - (4) 集団生活の向上
4. 資料名 1本のジュース
(明治図書出版「中学校道徳自作資料集1年」神奈川県道徳授業研究会)

5. 主題構成の観点



6. ねらい

集団の中での自己の責任を自覚し、自己を高めるために集団生活の向上に努めようとする意欲を高める。

7. 指導過程

☆…指導の最重要ポイント ◎…指導の重要ポイント

	学 習 活 動	発問と予想される生徒の反応	指 導 上 の 留 意 点
導 入	①学級内や学校内での守れていないルール(約束事)を話し合う。	○最近、学級や学校で守られていないルールにどのようなものがありますか。 ・ベル着 ・掃除当番 ・係の黒板消し ・授業中のおしゃべり	①できるだけ和気藹々とした発言しやすい雰囲気をつくる。 ・学級の実態を考えさせる。 ・2年生は規則に対して軽く考えてしまう時期なので、ここで一度「ルール」の意味を考えさせる。
展 開	②資料『1本のジュース』を読み内容を把握する。 ③質問1について考える。 ④質問2について考え、意思表示をし、意見交流をして考えを深める。 ⑤質問3について考える。	○【質問1】池田君は何が悪かったと思いますか。 ・ジュースを飲んだこと ・周りに流されたこと ・自分で作った規則を自分で破ったこと ○【質問2】安田君の意見をどう思いますか。 [正しい] ・規則が守れない事もあるし命の方が大切。 ・池田君を助けてあげようとしている。 [正しくない] ・命をなんて、言い訳しているにすぎない。 ・こんな事では誰も規則を守らなくなってしまう。 ○自分が池田君だったら、どうしたのだろうか。 ・ルールで決めた事なので飲まない。 ・誘われたら飲んでしまうと思う。 ★規則は、みんなで考えて作られたもの。守っていこうとする意志がないと集団がダメになってしまう。	②教師が音読する。 ・人物絵などを黒板に貼る。 ③数人の生徒に発表させる。 ・一番悪いと思えることを学習シートに書かせるようにする。 ④ネームプレートで意思表示をした後、多くの生徒の意見を交流し合うようにする。 ◎「命を…」と言っているが、冷静に考えれば極論であることがわかる。無理な理屈をつけて言い訳をしていることに気付かせたい。 ⑤挙手をし、行動を確認した後、理由を数名が発表できるようにする。 ◎友だちの誘惑や、自分自身への甘さから規則を破ってしまうこともある。このようなことも、他人のせいにするのではなく、自分自身の責任であることを理解させたい。
終 末	⑥学習シートに感想を書く。		⑥いままでの行動を考えて、これからの自分が規則を守っていこうとする気持ちを感想に書くようにする。

8. 評 価

- 授業に積極的に参加することができたか。(観察・発言)
- 規則が集団にとって大切なものであることが理解できたか。(観察)
- 自分が属する集団を高めていこうとする意欲が持てたか。(学習シート)

資 料	1本のジュース
-----	---------

年 組 番 氏名	月 日 曜
----------	-------

【質問1】池田君は何が悪かったと思いますか。

意見

【質問2】安田君の意見をどう思いますか。

正しい ・ **正しくない**

理由

【質問3】自分が池田君だったら、どうしたでしょうか。

行動

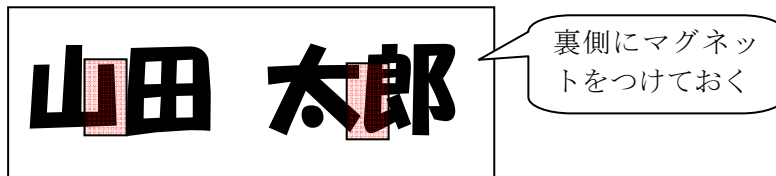
○今日の感想

○道徳授業を進めるにあたって(2) 【資料名 1本のジュース】

ネームプレートを使って意思表示をする。

ネームプレートを用いて生徒の立場を明確にした上で意見交流を行います。立場が明確となった生徒は意見を考えようとする意欲が高まり、意見交流が進みます。

- (1) ネームプレートを用意します。
- ・道徳の授業の中で、意思表示をするときにはネームプレートが便利です。学級びらきのときに、席替え用の他にもう一つを作っておくとよいでしょう。



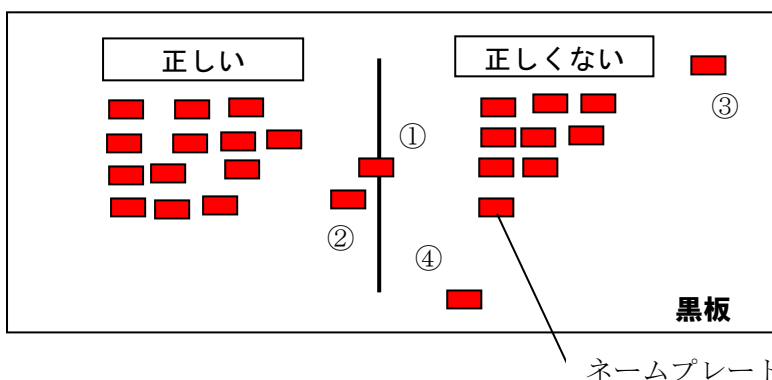
- (2) 質問2「安田君の意見をどう思いますか。」について、ワークシートに記入させます。

【質問2】安田君の意見をどう思いますか。

正しい ・ 正しくない

理由

- (3) ネームプレートを黒板に貼りに行かせます。
- ・生徒の机の上に置いて配ってもよいし、黒板の端に貼っておいて貼り直しに来させてもよいです。



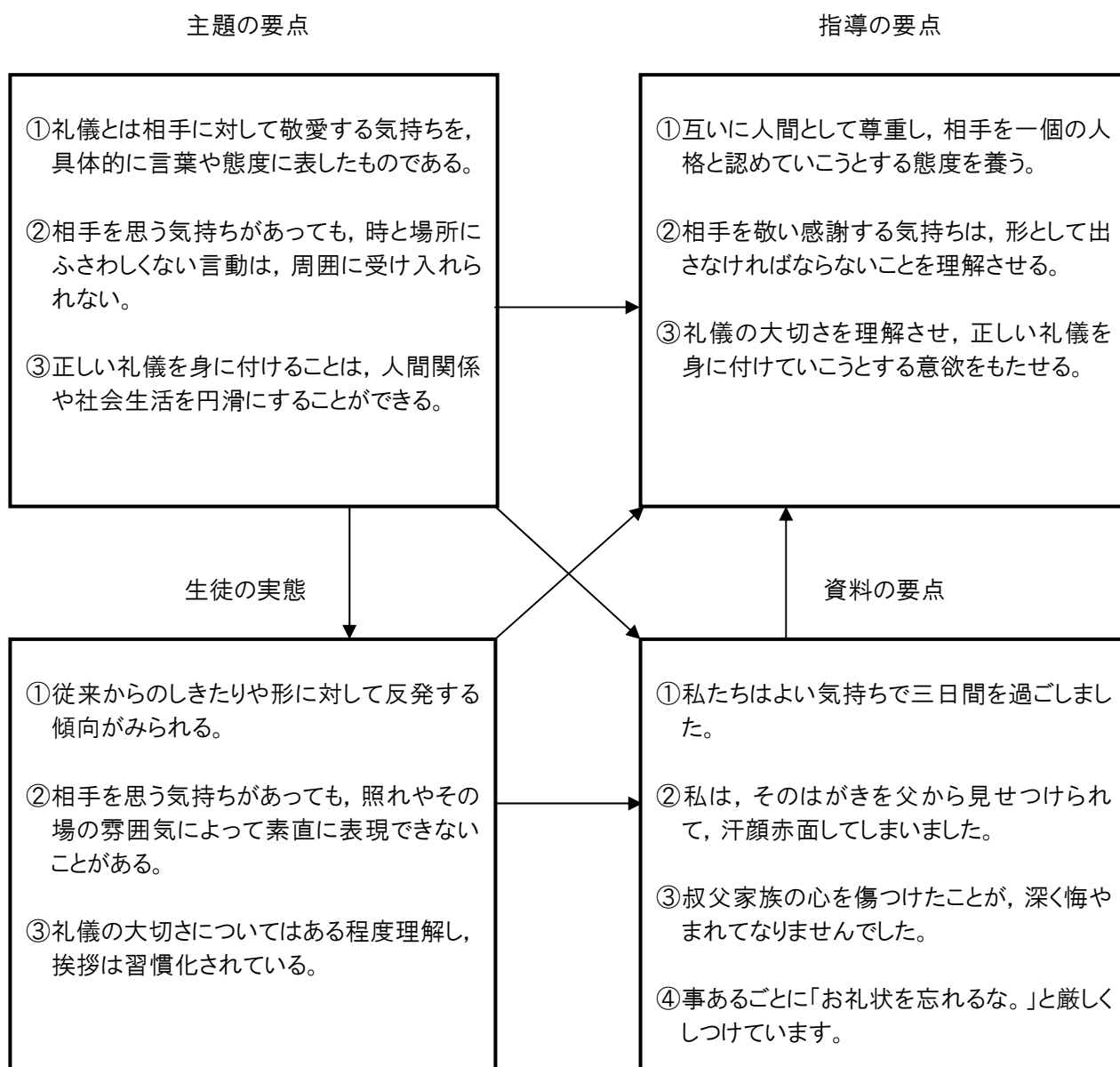
- (4) それぞれの生徒の理由を発表させます。
- ・生徒が貼ったものについては、整頓する必要はありません。上の図の様にネームプレートが貼られたとき①～④の生徒には、それぞれ理由があるかも知れないからです。

- (例)
- ①→どちらか迷っている。
 - ②→迷っているが、やや「正しい」意見寄りである。
 - ③→完全に「正しくない」と考えている。
 - ④→選択肢以外の意見がある。

道徳学習指導案

京都市立〇〇中学校

1. 指導日時 平成〇〇年 〇月 〇日(〇) 第〇校時
2. 指導学級 〇年 〇組 (在籍生徒 計〇〇人)
3. 主題名 2-(1) 礼儀
4. 資料名 一枚のはがき(文部省「道徳の指導資料とその利用 1」 一部改)
5. 主題構成の観点



6. ねらい

礼儀作法とは単に心に思っているだけでなく、感謝や好意を形に表す方法であることを理解させ、時と場所に応じた形で表現しようとする態度を養う。

7. 指導過程

★…指導の最重要ポイント ◎…指導の重要ポイント

	学 習 活 動	発問と予想される生徒の反応	指 導 上 の 留 意 点
導 入	①挨拶について話し合う。	○みなさんは、誰にどのような挨拶 をしていますか。 ・おはよう ・ありがとう ・先生に ・先輩に ○なぜそのような挨拶をしているの ですか。 ・言わないと失礼だから ・相手に悪いから ・習慣だから	①できるだけ和気藹々とした発言しやす い雰囲気をつくる。 ・今日や昨日の行動を思い出すよう にし、発言しやすくする。
展 開	②資料『一枚のはがき(前半)』 を読む。 ③前半の状況を把握する。 ④資料『一枚のはがき(後半)』 を読んで、質問1について考 え、意思表示をし、意見交 流をして考えを深める。 ⑤質問2について考え、意見交 流する。 ⑥礼儀の意味を考える。	○叔父さんはどのような人だと思 いますか。 ・親切な人 ・やさしい人 ○【質問1】筆者がお礼状を出さな かったのは、それほど悪いことだ ったのでしょうか。 [とても悪いこと] ・親切な叔父さんをつかりさせた。 [少し悪いこと] ・悪いことをしてしまったが反省して いる。 [悪くはない] ・歓迎は叔父さんが勝手にしたこと。 ○【質問2】筆者は、なぜ子どもたち に「お礼状を忘れるな。」と厳しくし つけているのですか。 ・子どもに自分と同じ経験はしてほ しくない。 ○筆者は叔父さんに「感謝」してい なかつたのだろうか。 ・大変感謝している。 ★礼儀や作法については「堅苦し い」と考えずに身に付けると、人 間関係が広がるなど、良い関係 をつくることができる。「ありが とう」の一語で、相手は嬉しく思 うし、また助けてあげたいと思 う気持ちがわいてくるものである。	②資料(前半)を配布する。 ・人物絵などを黒板に貼る。 ③数人の生徒に発表させる。 ・叔父さんのどの様な行動により考えた か、その理由も考えさせる。 ④資料(後半)を配布する。 ・ネームプレートを使って、意思表示を した後に、意見を交流する。 ・黒板の数直線の下に、ネームプレ ートを自由に貼る。 ・様々な意見に対して、否定しないよう に心がける。 ⑤筆者が今回のことで非常に反省してい ることを理解させる。 ・「筆者自身は『お礼状』を出しているの だろうか。」と補助質問をする。 ⑥感謝の気持ちがあっても、言葉や表情、 行動などで表さないと相手に伝わらな いことを気付かせる。 ◎形も大切だが、心がこもれば、更 に良いことも気付くことができるよ うにしたい。 ◎形を表す方法は昔からあるので、難 しく考えないようにする。 →礼儀、作法、挨拶 ・教師の経験談などを話し、正しい礼儀 を身につけようとする意欲付けをする。
終 末	⑦学習シートに感想を書く。		⑦これまでに、挨拶や礼儀が不十分だ ったことはなかったかを振り返り、感想 を書かせるようにする。

8. 評 価

- 授業に積極的に参加することができたか。(観察・発言)
- 礼儀が人間関係をつくる上で大切なことだと理解できたか。(学習シート)
- 礼儀を身に付けていこうとする意欲がもてたか。(学習シート)

一枚のはがき(前編)

庄野英二

今は町名改正で、神山町になっていますが、私の亡父の郷里は、徳島県名西郡上分上山村みょうざい かみぶんかみやまむらという、剣山つるぎさんに近い山村でありました。

私の家族は、大阪に住んでいましたが、叔父おじや叔母おばたちは上山に住んでいました。

私は学生時代のある夏、二人の友人を誘って剣山登山を計画しました。

大阪から船で小松島こまつしまに渡り、汽車で徳島へ出て、あとは乗り物も利用しない、宿屋にも泊まらないキャンプだけという計画でありました。

三人のリュックサックは、キャンプ用具と食糧その他で、途方もなく重たくなってしまいました。リュックサックをかつぐと、肩の前あたりの筋肉が圧迫され、しびれて血液の流れも止まってしまいました。リュックサックをかついで立っているだけでも苦痛でした。そこでリュックサックの荷物を取り出して、両手でさげるように荷づくりをし直しました。

とにかく大阪を出発し、徳島までたどり着くことができました。そして第一日めは、どうやらこうやら鮎喰川あくいがわに沿って、かたつむりのようにノロノロと歩きました。

予定よりもはるかに手前で、最初のキャンプを張ることにしました。

第一日の行程から考えてみると、上山村に到着するまでに、何日かかるか想像もつきません。三人は相談した結果、私の叔父の家のある上山までは、歩くのをやめてバスに乗ることにしてしまいました。

翌朝、バスで楽々と上山まで行ってしまいました。

上山村といっても実に広いのです。バスは上山村の川又かわまたという字で終点です。叔父の家は中津なかつという字にあるのです。

川又から中津まで六キロほどありました。

三人はしかたなしに、重いリュックにあえぎながら歩いて、叔父の家にとどり着きました。叔父の家では、おいが友達を連れて、はるばるやってきたというので、大歓迎だいかんげいをしてくれました。ニワトリをつぶすやら、ウナギを焼くやら、下へも置かぬもてなしです。友人がキャンプを張ると言っても承知しません。

座敷ざしきにふとんしを敷いて、蚊帳かやをつつてくれました。毎日、おはぎやすしを作ってくれたり、田舎ながら精いっぱいのごちそうをしてくれました。

私たちはよい気持ちで三日間を過ごしました。

それから、三人は剣山登山を決行しました。荷物は整理して軽くしてしまいました。

出発の朝、叔父は三人の荷物を一つにまとめて、次の村の峠の上まで汗だくで運んでくれました。いくら荷物の整理をしてあっても、三人の荷物を一緒にすると、相当な重量でありました。

三人は全く恐縮きようしゆくしてしまいました。若い学生が、自分の荷物を年上の人にかついでいただいているのです。ところが叔父は、
「きみたちは、これから行程こうていも長いのだし、剣山を登らなければいけないのだ、ちょっとでも力をセーブしておきたまえ。」
と言ってくれるのです。そして、いくら言っても荷物をかつがしてくれません。
やっと隣村となりむらの峠の上で、三人は荷物をめいめいでかつぎ、叔父と手を振って別れました。
その時の登山は、三人の楽しい思い出となりました。

一枚のはがき(後編)

私たち三人が、無事に帰って、そして二週間も三週間もたってからのことでした。
叔父から、父にはがきが来ました。
こんな意味のことが簡単に書かれてありました。

――過日かじつは、おいとその二人の友人が来て、わが家一同は大喜びであった。
田舎のことで、たいしたもてなしもできなかったが、みんなとても喜んでくれていた様子である。
出発の朝、三人の荷物を隣村の峠まで運んだが、力自慢ちからじまんの私にとっても大仕事であった。
しかし、それはともかく、家内かないや子どもたちも、三人からのその後の便りを待っているが、一枚のはがきも来ない。お礼状さいそくを催促するつもりではないが、このごろの若い者はのんきなものだ――。

私はそのはがきを父から見せつけられて、汗顔赤面かんばんせきめんしてしまいました。
私は、自分が、はがき一枚出していないことを棚に上げて、なぜ二人の友人が、お礼状を出してくれなかったのかと恨む気持ちにさえなっていました。
叔父は、自分の兄に出す便りですから、遠慮えんりよ気がねもなく、あっさり書いているのです。別段、おいやその友人を恨みがましく思っているわけではありません。
けれども、私は誠心せいしんをもって私たちをもてなしてくれた、叔父家族の心を傷つけたことが、深く悔くやまれてなりませんでした。

何年かたって私も父親になってから、私は自分の子どもには、事あるごとに「お礼状を忘れるな。」と厳しくしつけています。

しかし、自分の学生の時の失敗はまだ子どもに話したことはありません。隠していたわけではないのですが、この原稿を書くまで忘れてしまっていたのです。

荷物をかついでくれた叔父も三年前の秋の終わりに死んでしまいました。

資 料	一枚のはがき
-----	--------

年 組 番 氏名	月 日 曜
----------	-------

【質問1】筆者がお礼状を出さなかったのは、それほど悪いことだったのでしょうか。

- A. とても悪いこと B. 少し悪いこと C. 悪くはない

理由

【質問2】筆者は、なぜ子どもたちに「お礼状を忘れるな。」と厳しくしつけているのですか。

理由

○今日の感想

○道徳授業を進めるにあたって(3)【資料名 一枚のはがき】

ネームプレートと数直線を使って意思表示する。

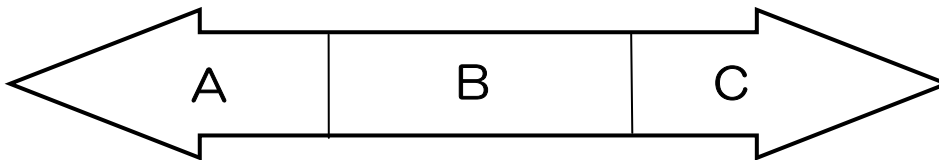
ネームプレートを用いて意見交流を行う場合、選択肢を作らずに「気持ちの度合い（程度）」を聞くことがあります。このときには、数直線を用いて意思表示をさせることもあります。

(1) ネームプレートを用意します。



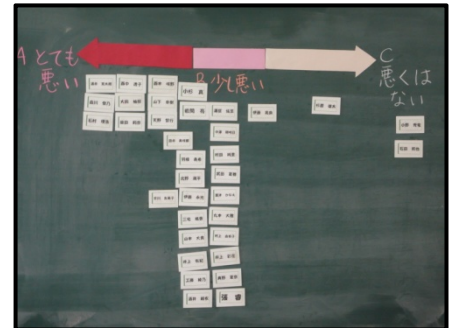
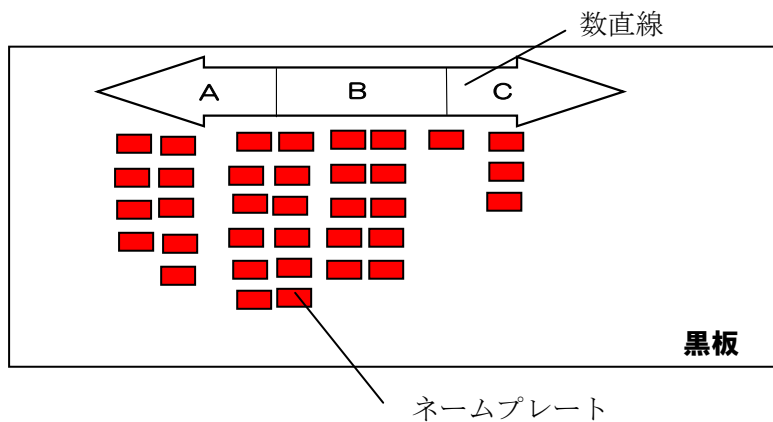
(2) 数直線を用意します。

・ 黒板掲示用に下図のように作ります。（裏側にマグネットをつけておきます。）



(3) A「とても悪いこと」、B「少し悪いこと」、C「悪くはない」として、数直線の下にネームプレートを貼り意思表示をさせます。

・ 生徒が貼る場所から、生徒の「気持ちの度合い」が読み取れます。



(4) 実践授業での「生徒の意思表示の結果」と「主な意見」は、次のようなものでした。

質問1の意思表示 (35人中)		
A	【とても悪い】	9人
A'	【AとBの間】	12人
B	【少し悪い】	10人
B'	【BとCの間】	1人
C	【悪くはない】	3人

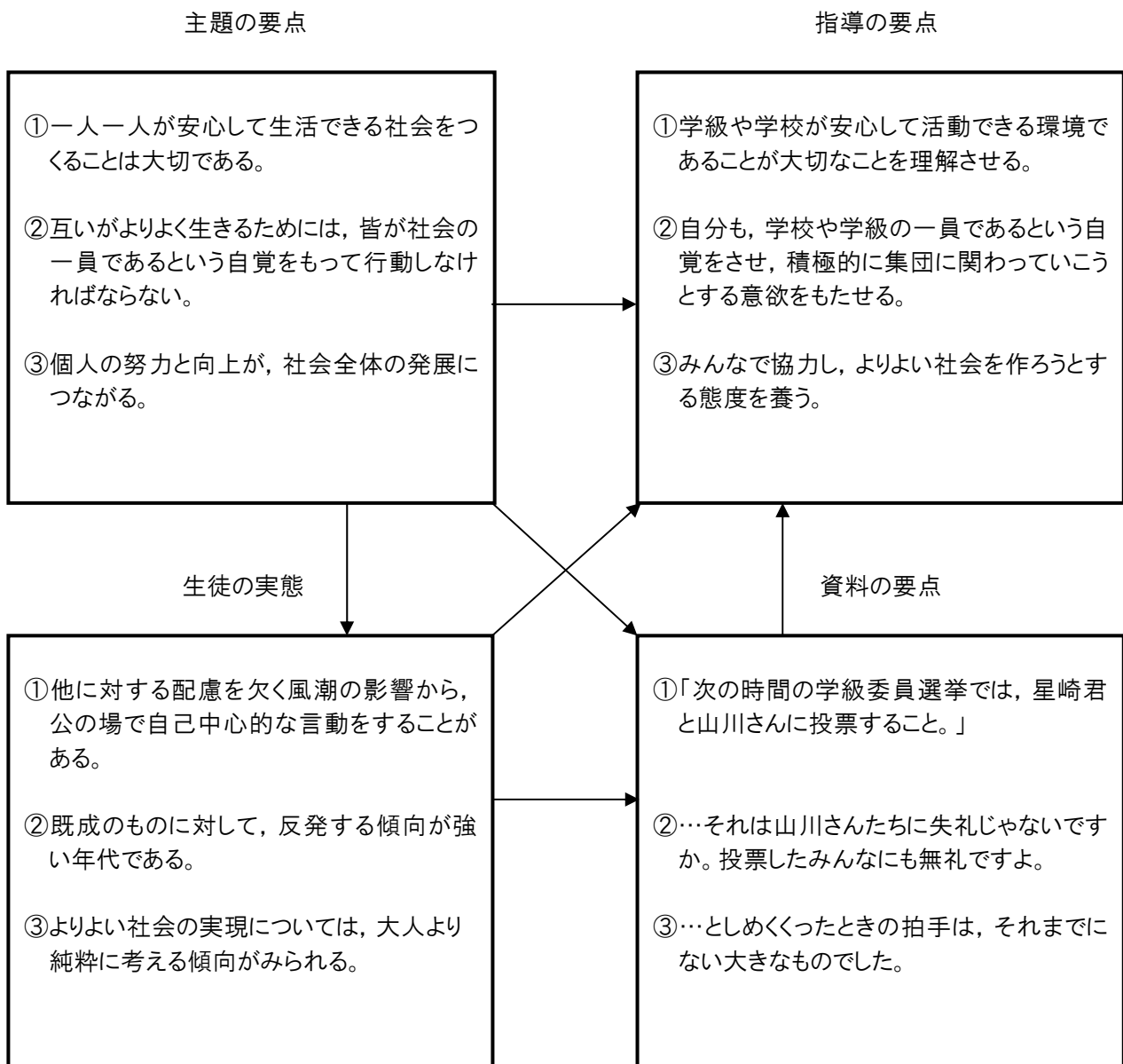
- A 【とても悪い】
 - ・ お礼状くらいでは足りないくらいだ。
 - ・ 登山で何かあったかと心配をかける。
- A' 【AとBの間】
 - ・ 気持ちは伝わっていたはずだ。
 - ・ お礼状を出したことがなかったかも知れない。
- B 【少し悪い】
 - ・ 別れの前にお礼を言ったので、まだまし。
 - ・ 感謝の気持ちはあるので、そこまで悪くない。
- B' 【BとCの間】
 - ・ お礼を言ったのだから、お礼状まではよいのでは。
- C 【悪くはない】
 - ・ おもてなしを望んでなかったのに、礼状を書けとは叔父さん調子にのりすぎ。
 - ・ 叔父さんの世話になるつもりではなかった。

道徳学習指導案

京都市立〇〇中学校

1. 指導日時 平成〇〇年 〇月 〇日(〇) 第〇校時
2. 指導学級 〇年 〇組 (在籍生徒 計〇〇人)
3. 主題名 4 - (2) 社会連帯
4. 資料名 学級委員
(明治図書出版「中学校道徳自作資料集3年」神奈川県道徳授業研究会)

5. 主題構成の観点



6. ねらい

社会の一員としての自覚をもち、みんなと協力してよりよい社会を積極的に作っていかうとする意欲をもたせる。

7. 指導過程

★…指導の最重要ポイント ◎…指導の重要ポイント

	学 習 活 動	発問と予想される生徒の反応	指 導 上 の 留 意 点
導 入	①生徒会の選挙について考える。	○今の生徒会長の名前を知っている人はいますか。	①できるだけ和気藹々とした発言しやすい雰囲気をつくる。 ・選挙の日程について伝える。
展 開	②資料『学級委員』を読み、内容を把握する。 ③質問1について考え、意見交流する。 ④質問2についての考え、意思表示をする。 ⑤質問2についてそれぞれの立場から意見交流をする。 ⑥学級をよくするためには、一人一人が積極的に活動していくことが大切であることを理解する。	○【質問1】藤沢さんと山川さんの行動を、あなたはどのように思いますか。 [藤沢さん] ・いやなやつだ。こんなことをするのは許せない。 ・ふざけてやったことで、許せる範囲だと思う。 [山川さん] ・責任感の強い女の子で、立派だと思う。 ・やりたくなければ、はっきりと断るべきだと思う。 ○【質問2】この学級委員選挙は有効でしょうか、無効でしょうか。 ○「無効」から「有効」の順で発表する。 [無効] ・人をいじめるために選挙を利用したから。 ・やる気のない人を無理矢理選んでも、クラスのためにならないと思う。 [有効] ・山川さんのように、この事でがんばれる人もいるから。 ・みんなで決めた選挙なら有効だと思う。 ○このお話で一番悪い人はだれですか。 ・山川さんや、藤沢さんではなく、許して投票した者全員が一番悪い。	②資料を配布する。 ・人物絵などを黒板に貼る。 ③学習シートを配布する。 ・2人に対して思うことを素直に書くようにする。 ・学習シートをそのまま読むのではなく、メモ代わりにさせて自分の言葉で発表できるようにしたい。 ◎「もしかしたら自分たちの周りでもあることかも知れませんね。しかし、声には出ないかも知れませんが、周りのみんなは藤沢さんの行為をこのように(悪く)考えているようですね。」 ④ネームプレートか付箋を使って意思表示ができるようにする。 ⑤できるだけ多くの意見を発表するようにする。 ・意見についてはできるかぎり板書をする。 ・双方の意見が出た後で、言い足りない生徒がないか確認し、いる場合は意見を発表させるようにする。 ◎選挙によって決められたことは有効ではあるが、このようなことが行われる学級はよいクラスにならない。このようなことでは、安心して活動できないことに気付かせる。 ★よくないことだと知りながら、同調してしまえば、次は自分の番かも知れない。一人一人が「よいこと」「悪いこと」を判断し、行動をしていくことが、間違っている人(藤沢さん)を正し、クラスをよくしていくことにつながることを理解させる。
終 末	⑦学習シートに感想を書く。		⑦後期の学級役員や生徒会選挙に対して抱負があれば、しっかり書かせるようにする。

8. 評 価

- 授業に積極的に参加することができたか。(観察・発言)
- 生徒会のリーダーについてしっかり考えることができたか。(学習シート)
- 学級や学校の一員として、学級をよりよい集団にしていこうとする態度が見られたか。(学習シート)

資 料	学級委員
-----	-------------

年 組 番 氏名	月 日 曜
----------	-------

【質問1】 藤沢さんと山川さんの行動を、あなたはどのように思いますか。

藤沢さん

山川さん

【質問2】 この学級委員選挙は有効でしょうか、無効でしょうか。

有効だと思う ・ 無効だと思う

理由

○今日の感想

○道徳授業を進めるにあたって(4)

自己有用感を高める道徳授業を考える。

生徒の自発的な発言に期待するのなら、「またみんなの前で発表したいな。」という気持ちにさせる必要があります。そのために、教師のアクションが大切になります。

(1) 生徒の発言は否定しない。

- ・様々な「考え方」や「価値観」があります。発言を肯定的にとらえましょう。
- ・教師が否定的なとらえ方をしてしまうと、生徒を「二度と発言したくない。」という気持ちにさせてしまいます。

(2) 生徒の発言を黒板に書く。

- ・自分の発言が黒板に文字として書かれることが、生徒の「わたしの意見が認められた。」という思いにつながります。できるかぎり書いてあげましょう。

(3) 発言の後に追質問をする。

- ・教師が「なるほど、それで…。」「もう少し説明を聞きたいな。」と質問をすることで、生徒は真剣に自分の意見を聞いていると感じるようになります。

更に（ちょっとした）授業での工夫をする。

(1) 教師が自分の体験談などを話す。

- ・自分の思いを伝える「手本」を示すことになります。
- ・生徒と相互の意見交流になります。

(2) ワークシートに質問事項を書かない。

- ・質問事項を見て授業の先読みをしてしまう生徒もいます。ワークシートは空欄にしておいて、授業の中で質問事項を提示するようにします。

(3) 授業の中で「おどろき」を仕掛ける。

- ・生徒に「先生はこんなことを教えたいのだろう。」と読まれると授業がつまらなくなります。授業の中に何か所か仕掛けてみましょう。

(3) 時間がなくなってしまったら。

- ・「ごめんなさい。他の人の意見も聞いてみたいのですが、時間が無くなってしまいました。君たちの意見を知りたいので、ワークシートにしっかり書いてくださいね。」と一言を。